

第 6 回 JOIC セミナー

「欧州におけるオープンイノベーション事例」

講演 1: 「Open Innovation at Siemens」

Siemens K.K. / Head of Corporate Technology, Helmut Wenisch 氏



シーメンスはドイツのバイエルン州ミュンヘンに本社を置く多国籍企業。シーメンスでは、オープンイノベーションに特化した部署を作らず、複数の部署で多面的にオープンイノベーションへの取り組みを行っている。本日の講演では当社が思い描く将来像を外部に発信する「Picture of the Future」、社内「Crowd Sourcing」、大学との協業、新設されたベンチャーユニット「next47」などについて紹介する。

Helmut Wenisch 氏は大学、スタートアップ、戦略パートナーと連携しながらオープンイノベーションの実行に従事。企業がどのように革新するか、アイデアや資金をどのようにしてマネタイズするか、大企業がグローバル人材をイノベーションのためにいかに活用するかに関心を持つ。Bremen 大学で博士号（物理学）、Temple 大学で MBA を取得。

講演 2: 「How to unlock new business value through the open innovation approach」

Electrolux / Project Manager, Beatrice Maestri 氏



エレクトロラックスはスウェーデンのストックホルムに本社を置く世界最大級の家電メーカー。エレクトロラックスではオープンイノベーションを社内と社外のネットワークのシナジーを通じたビジネス手法と位置づけ、自社として求めるものがどの程度明確になっているかに応じて、Targeted challenges と Inspired challenges という 2 つのアプローチで取り組みを行ってきた。

Beatrice Maestri 氏はエレクトロラックスのオープンイノベーション部門のプロジェクトマネージャーを務める。新たなビジネスモデル、スカウティング、スクリーニング、プロモーションを担当。Bocconi 大学で MBA、Bologna Business School の Technology and Innovation Management でエグゼクティブ・マスターを取得。

講演 3: 「Open Innovation at High Tech Campus Eindhoven」

High Tech Campus Eindhoven / Business Development Director, Cees Admiraal 氏



High Tech Campus Eindhoven (HTCE) は、オランダのアイントホーフェンにあるコミュニティ。現在では Intel, IBM, Philips などを含む 150 の企業・機関、85 国籍の約 1 万名が活動している。フィリップスが 1998 年に国内の R&D 拠点を 1 箇所に集約するために設立した Philips High Tech Campus が起源だが、より多様な人材との交流を可能にするため、フィリップスが 2003 年に自社以外の企業にも施設を解放し、名称を High Tech Campus Eindhoven に変更した。

Cees Admiraal 氏は 2005 年以來、HTCE にてビジネス開発ディレクターを務める。国内外の最先端技術のネットワークと連携しながら事業を運営。フィリップスでは様々なポジションに就き、日本、韓国を中心にアジアパートナーとの協力について学ぶ。Nijmegen University 卒業（物理学）。